

グループ保険制度

ただ今 好評募集中!

(6月20日締切)

石川保険医新聞

発行所
石川県保険医協会
金沢市尾張町1丁目9番11号
尾張町レジデンス2F (〒920)
電話 (0762) 22-5373番
発行人 後藤田博之
印刷所 ユーアイ印刷
(会費月額 3,800円)

最近7年間の会員の増減 (会計年度は毎年5月1日から翌年の4月30日まで)

年度別	区分	医科	歯科	合計
昭和55年度	入会	19人	10人	29人
	退会	5人	ゼロ	5人
	実質増	14人	10人	24人
昭和56年度	入会	26人	10人	36人
	退会	9人	2人	11人
	実質増	17人	8人	25人
昭和57年度	入会	31人	9人	40人
	退会	12人	2人	14人
	実質増	19人	7人	26人
昭和58年度	入会	19人	7人	26人
	退会	8人	4人	12人
	実質増	11人	3人	14人
昭和59年度	入会	31人	10人	41人
	退会	7人	1人	8人
	実質増	24人	9人	33人
昭和60年度	入会	11人	12人	23人
	退会	6人	6人	12人
	実質増	5人	6人	11人
昭和61年度	入会	39人	18人	57人
	退会	6人	2人	8人
	実質増	33人	16人	49人

1987年4月30日、作成

会員数とともに 年間目標こえる

当協会は昨年五月の定期総会で「医科・歯科とも十五人以上の会員増加をはかり、早期に五〇〇人の協会組織を確立する。会員達成目標は医科三九〇人(開業医比五九・八%)、歯科一五五人(同三六・〇%)とする」ことを確認しました。この一年間の入会者は医科三十九人、歯科十八人であり、退会者は医科六人、歯科二人、従って実質の会員増加は医科三十三人、歯科十六人となり、医科・歯科とも年間の会員増加目標を達成することが出来ました。しかも年間の会員増加四十九人は過去最高であり、現在、医科四〇八人、歯科一二六人に至っています。

医科

新規開業

ほとんど入会

最近では医科会員は新規開業医のほとんどが入会しており、また年間通じて毎月会員拡大を続けており、歯科会員も昨年五月の歯科部会結成後の堅実な取り組みで次第に協会活動への理解と共感を得るようになり、久しぶりに二ケタ拡大となりました。(別表参照)

自主入会

急テンポで

歯科

特に歯科は今年になって急テンポで入会者が増えていきます。この一年間の歯科会員の入会動機は次のようになっています。

- 。宣伝による自主的入会 七人
 - 。共済制度の加入 六人
 - 。事務局訪問 三人
 - 。役員・会員の紹介 一人
 - 。研究会参加 一人
 - 。名義変更 一人
- このように歯科では保険医新聞による宣伝、歯科・医科隣接医学懇談会の開催

未入会の先生は
ぜひご入会下さい
保険医協会の活動内容や共済制度などを詳しくお知りになりたい先生はご一報下さい。事務局員が訪問致します。

☎ 0762-22-5373

医心凡話

激戦といわれた県議選を含む統一地方選挙もようやく終わりを告げ、街角の我が診療所もやっと落ち着きを取り戻した感がある。

この県議選はまた、医療関係者の団結と集票力を世間が注目した一戦でもあった。幸いにして岡部先生の最高位当選で、何よりも行政との間に太いパイプが通じたことよって医療活動が以前よりスムーズになることは間違いなく、岡部先生の今後が大いに期待したいものである。

それにしても今度の選挙における奥様の活動ぶりは目を見張るものがあり、「医者のお奥さんはお嬢さん育ち」という変な既成概念は完全に覆され、電話作戦、ローラー作戦、さてはウグイス嬢と縦横無尽の活動で、選挙通をして「今回の勝因の第一は女性パワー」といわしめたほどであった。

めざして

会員

六〇〇人

麗しの五月。風さわやかに花咲き乱れる中、メーデーの集いがテレビ中継され、売上税反対運動のどよめきとともに大勢の華やかな女性の姿が写しだされる。大衆の声は何者もこれを阻止出来ないのは当然であるが、今や大衆は女性にリードされていると感じるのは私だけであろうか。

持論

石川県議選および県内五市議選、十七市町村議選が終わり、無投票となった七町村と合わせ四百九十七人の新議員が揃った。

統一地方選挙を終えて

新議員に望むこと

この度の地方選挙の、われわれ医師から見た特徴の第一は、石川県議選の金沢地区において岡部雅夫先生がトップ当選したことである。

これは金沢市医師会の諸兄の

した成果であり、また、金沢市の住民たちの「これからの私たちがすすみ現実の社会体制が対応してゆけず、種々のゆがみを生

努力はもちろんのこと、県内各地の医師やパラメディカルの皆さんが縁故知人を通じての応援

担当する素朴な信頼がいかに大きなものであるかを示したものである。

生計の崩壊、老後の不安、赤字財政再建や税制改革などの問題が山積している。これらの社会問題を十分認識し、広い視野で中央との連動をはかり、解決していくことを今回選出された議員諸氏に望みたい。

また、これはとりもなおさず、医療現場を担当するわれわれの行動原理とも一致するものである。

〇〇〇

第18回 歯科協 全国会議 報告

生の声に問題意識高まる

今大会は、全歯科医師の約四割、一万六千名を越す会員が加盟する強力な全国組織に発展したという背景のもと、三十一都道府県の加盟協会と未組織の五オプザーバー団体代表で開催された。全国会議の意義は何だろうと考えるに、私にとっては、参加することにより全国各協会の活動の生の報告が聞けることであり、各協会が取り上げるいろいろな題材により、問題意識が高められることにある。

成人検診を実施してみた。病院歯科の実態調査をした。売上税に反対する。そして病診連携、

卒後研修の場など、そのあり方はどうあるべきか……取り組み始めた。

在宅医療（寝たきり老人における歯科側の取り組み）は如何にあるべきか。

顎発育不良に関するシンポジウムを、歯科医師、その他の専門家も交えて開催してはどうか。

各協会活動において、研究会開催を容易にするために費用の援助と、第一線医療に携わる講師の全国的リストを作製する。

初診料に除石が含まれるという解釈は問題。

厚生省に機構改革を求め、歯科担当審議官を設置し、



保団連54,000人のリーダー 桐島会長のあいさつ。

多くの友が必要
協会活動に参加を

付記

◆『私達の手元には毎月毎月、全国から数多く(多すぎる)雑誌、パンフ、新聞などが送られて来ます。全部を読み、消化することは不可能です。しかし、こういう全国会議に参加することにより触発されて、ある一部分でもピックアップし

Cは硬組織、Gは歯肉、Pは歯槽骨のそれぞれの疾患を表す病名であるが、ZSは、この疾患を表わすものであるのか。今日、ZSは、どの疾患を表わすものであるのか。今日、ZSは、C、G、P、各々の疾患に合併する一症状にすぎないと考える方が合理的であるように思う。

従来、Pは病因論においてZSの有無は重要な診断基準の一つではあったが、今日の学説では、Plaque中のbacterial toxinであることが判明しているのである。(Cにおいては、Plaque & calculusに一致した乳配脱灰) 従って、CGPの診療行為の保険点数算定に一步進んでPlaque即ち、bacteriaの除去処置が導入されるべきである。

ブラッシングとか、プラークコントロールとかいって、患者に指導している処置行為に報酬が求められるべきであり、その際、歯周組織周辺の細菌数を減少させている点が強調されるべきものである。

そして、その処置行為に歯石除去行為が含まれるべきものである。

新型P療法の導入以来、全国のカルテから、ZSの病名は姿を消していると思う。

レセプト審査において、初診時の除石は初診点数に含まれるとか、全顎一回の除石行為は認められないとか問題になっている。

定期検診を希望し、プラークコントロールの強化のために来院される患者が増えているのである。

今次改正されたPの診療体系は原因除去を基本にしているのである。

原因除去、つまり、細菌の数を減少させている点を患者は勿論のこと、厚生省

置行為に報酬が求められるべきであり、その際、歯周組織周辺の細菌数を減少させている点が強調されるべきものである。

そして、その処置行為に歯石除去行為が含まれるべきものである。

新型P療法の導入以来、全国のカルテから、ZSの病名は姿を消していると思う。

レセプト審査において、初診時の除石は初診点数に含まれるとか、全顎一回の除石行為は認められないとか問題になっている。

定期検診を希望し、プラークコントロールの強化のために来院される患者が増えているのである。

今次改正されたPの診療体系は原因除去を基本にしているのである。

原因除去、つまり、細菌の数を減少させている点を患者は勿論のこと、厚生省

私の提言

歯科口腔衛生指導料の一般化を

金沢市 大矢 甚 祐

- 一、 plaque control 即ち bacterial control を報酬の算定基準にし、除石処置をそれに含める。(一顎一回二五〇点)
 - 二、暫間固定処置の二型二型の区分を廃止し、レジンの連結行為を算定基準にする。
 - 三、咬合調整時診断料一回、一〇〇点、調整一歯十六点。
 - 四、最終補綴時、硬質レジ crown や前装鑄造冠の連結を認め永久固定を可能にすること。
 - 五、小歯牙移動の保険導入問題。
 - 六、埋伏残根を露出させるため、歯肉整形術の復活。
 - 七、CGPなどの原因除去行為は診療で一般化されている。
- 従って、歯科口腔衛生指導料の一般化を要求する。

デンタルスタッフ講習会

ご案内

テーマ 患者接遇の心得

講師 日航スチュワーデス教育部

とき 9月20日(日) PM1時

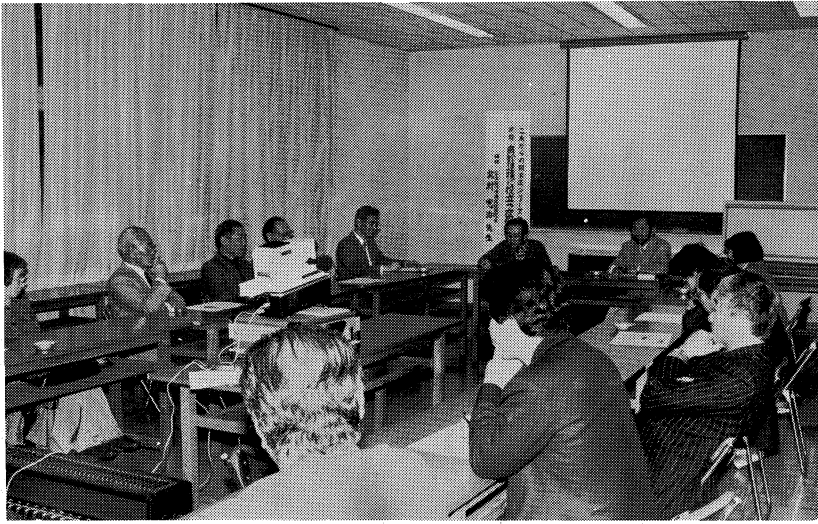
ところ 後日決定

参加費 1,000円

歯科の先生へ

このページは歯科専用のページです。

掲載ご希望の記事や、ご意見をどしどしお寄せください。(編集部)



金沢、美川からも多数の参加。
(4月16日、石川松任郡市医師会館)

本年度より保険医協会が、日頃より病診間で医師の交流を深めておこうという学術・保険部の趣旨だと思われる。

当協会学術・保険部が主催し、好評を得ている『これからの開業医シリーズ』講演会の第五回目は、今までは趣向を変え、「病診連携に役立つ症例検討会」をテーマに開催しました。これは保険医協会がこれまで取り組んできた病診連携のシステムづくりの一環として、今後シリーズで開催することになったものです。

症例提示は公立石川中央病院内科、講師は同院内科の北村憲治先生に出席いただいた。筑田先生の挨拶の後、さっそく症例の紹介、検討に入った。以下、当日提示いただいた症例内容について簡単に記載したい。

第5回これからの開業医シリーズ 病診連携に役立つ症例検討会 (その1)

弁膜症—心房細動—脳虚血発作

症例は六十二歳の男性。主訴は意識喪失である。既往歴は不整脈、五十歳頃より心肥大、弁膜症を指摘されていた。現病歴として五十四歳頃より顔面、下肢の浮腫にて利尿剤、ジギタリスの投与を受けていた。昭和六十二年一月九日夜、更衣中、



症例提示と解説の北村先生。

短時間の意識喪失、涎流、左上下肢の運動障害のため入院した。入院時既に意識は清明に回復、神経症状は無く、理学的所見として心尖部拡張期雑音、心拡大が認められた。入院時および入院後の検査所見として頭部CTスキャン、超音波検査、心電図、心音図、心カテーテルなどの結果がスライドで供覧され、それぞれの担当の先生より説明があった。臨床診断は僧帽弁狭窄症、心房細動による一過性脳虚血発作(疑)であった。本例では頭部CTスキャンで特に所見は認められなかったが、

微少塞栓によるTIAが考えられた。

その後、質疑応答を含めて講師の北村先生より弁膜症、脳硬塞の薬物療法などの講演があり、本症では再発予防のため弁置換術の予定ということであった。

約二時間、大変内容の充実した勉強をさせていただいたが、北村先生をはじめ、症例提示していただいた主治医および関係諸先生の労を多量とした。今後、この会がさらに発展することを期待する。

(岡村利勝 記)

次回「病診連携に役立つ症例検討会」のご案内

協力病院
石川県立中央病院
とき 7月18日(土)
ところ 石川県立中央病院

メディカル・ゼミナール

売上税の医療への影響

(その3)

解答者 木村経営ブレイン
木村光雄 税理士

売上税が廃案、つまり導入されなくなると理解しておられますが、それでよろしいのでしょうか。

〔答〕先生方は既に新聞、テレビの報道でご存じかと思いますが、かねてより売上税導入を柱とする税制改革が、今年度予算案の国会審議の場で事実上廃案になりました。今回は、この売上税導入によるコストアップについて述べさせていただく予定をしておりましたが、先のような状況にありま

すので現在、新聞紙上で報道されていることにつき解説したいと思っております。何分にも大筋の内容しか判明しておらず、その点ご了解の上、ご一読いただければと思います。

まず、事実上廃案されたというところについてですが、これは四月二十三日に、国会で売上税法案については、衆議院議長の下のような輪旋案を野党で合意したということとを指しているのです。

つまり、一、売上税法案の取り扱いについては議長預りとする。

二、直間比率(直接税と間接税)の見直しについては、各党が早急に結論を得るような努力をする。

三、そのために、税制改革のための協議機関を設置する。

の方法としてうたわれておりますので、今後、税制改革そのものが、どんな形になるのかという問題が、売上税廃案によりクローズアップされてきました。今現在では、「減税先行、確実に」(四月二十四日、日経新聞)というように報道されておりませんが、これも、もちろん国会での審議を待たねばならない現状かと思えます。

医療機関に対する影響についても、はっきりと明言できる状況ではありませんが、五月一日の日経新聞によると、金丸副総理の発言として、新間接税は、名称を福祉税として福祉関係の歳出に当て、また、非課税品目の全廃というような案も出されておられ、その動向は今後も最大の関心事であることには変わりありません。

●お問合せは

木村経営ブレイン まで

☎(0762) 91-3335番(代)



4月26日、婦中町「千里山荘」で。

特別講演1 保団連方針の 中心点

保団連副会長 平井正也 先生

時間の制限もありますので一人の保団連役員が方針案をどう理解しているのか、ということでは話を進めた。方針案については総会で

いろいろな意見が出ました。「開業医に相応しくない表現がある」「文章が長すぎる」など。私は、あらは探せば色々あると思うが、全国の会員の先生方が目を通

「活動の到達点」では、保団連がなぜ結成され、その特徴は何か、八〇年代にどのように成長したのか、また将来にどのような可能性を持っているのかを要約されている。

この一年間の医療問題が多様になり、運動の規模が広がったことが書かれている。また何故、保団連が発展し

の現実的な力となる可能性があるかということ。また医療に關わる政治・経済・社会の動向を理解することは、われわれが視野を広げるといふ点で重要な問題。開業医の中には、よい医療の努力だけではよい

ではないか、という意見もあり、私はそれもひとつの見識と思うが、現実にはわれわれの医療はそれらと深く関わっている、その理解を抜きにしては医療の問題も解決しないという提起がされている。売上税と国民生活、国の歳入状況、自

民党の三〇四議席の問題など。また医療に關わる政治・経済・社会の動向を理解することは、われわれが視野を広げるといふ点で重要な問題。開業医の中には、よい医療の努力だけではよい

し、意見を出し合いながら作り上げてきたことをもっと誇りにして良いと思えます。一年に一回は各々の先生方が自身の体験とか考えと対置しながら考え方をまとめる基準として方針案を考えて下されば、これほど面白い読み物はないと思えます。

「活動の到達点」では、保団連がなぜ結成され、その特徴は何か、八〇年代にどのように成長したのか、また将来にどのような可能性を持っているのかを要約されている。

この問題に詳しい歯科協会の渡辺先生が「売上税は事業税課税阻止と特別措置法五段階方式の存続ということと複雑に絡み合っているの

で、日歯としても反対という立場をとりにくい事情があるが、国民の大多数が増税になり、自主申告納税制

の事業所検診の報告があった。老人歯科保健事業における健康教育・相談について今後各協会間において資料の交換を行っていくことになった。

午後から「よい医療と医

四月二十五、二十六日、第十一回保団連北信越ブロック協議会が富山県婦中町千里山荘において開催された。このブロック協議会というのは、保団連方針のより深い理解とブロック内各協会の活動交流の場として位置付けられており、年二回、開催地は持ち回りで変わるもの。

出などの政治・経済の理解抜きには語れなくなつたと講演された。続いて歯科協幹事の渡辺弘明氏は、中曾根税制改革が抽象的な耳ざわりのよい大義名分で、じつは不公平を一層拡大し内需拡大に反するものであることをわかりやすく話された。

午後には医科歯科各々の分科会で各課題についての意見交換と活動の交流を行い、午後三時に散会した。

まず、富山・太田先生が「売上税と歯科医療」という議題について口火役となり、今回の税制改革の内容について説明したあと、各協会で行われた売上税についてのアンケート結果が示された。

この問題に詳しい歯科協会の渡辺先生が「売上税は事業税課税阻止と特別措置法五段階方式の存続ということと複雑に絡み合っているの

で、日歯としても反対という立場をとりにくい事情があるが、国民の大多数が増税になり、自主申告納税制

の事業所検診の報告があった。老人歯科保健事業における健康教育・相談について今後各協会間において資料の交換を行っていくことになった。

第11回 北信越ブロック協議会

特集



保団連副会長、大阪保険医協合理事長の平井正也氏

最後に、「石川・新潟の部会発足後一年間の歩みと活性化の方策」の議題に対し、石川・大矢先生、新潟・神田先生から両部会の活動報告があった。両部会とも一〇〇名を超える会員が集り、今後とも増加させていくこと、毎月一回の例会を行っていること、活動の充実・強化を図る旨などが主な内容であった。

また医療に關わる政治・経済・社会の動向を理解することは、われわれが視野を広げるといふ点で重要な問題。開業医の中には、よい医療の努力だけではよい

ではないか、という意見もあり、私はそれもひとつの見識と思うが、現実にはわれわれの医療はそれらと深く関わっている、その理解を抜きにしては医療の問題も解決しないという提起がされている。売上税と国民生活、国の歳入状況、自

民党の三〇四議席の問題など。また医療に關わる政治・経済・社会の動向を理解することは、われわれが視野を広げるといふ点で重要な問題。開業医の中には、よい医療の努力だけではよい

の現実的な力となる可能性があるかということ。また医療に關わる政治・経済・社会の動向を理解することは、われわれが視野を広げるといふ点で重要な問題。開業医の中には、よい医療の努力だけではよい

ではないか、という意見もあり、私はそれもひとつの見識と思うが、現実にはわれわれの医療はそれらと深く関わっている、その理解を抜きにしては医療の問題も解決しないという提起がされている。売上税と国民生活、国の歳入状況、自

民党の三〇四議席の問題など。また医療に關わる政治・経済・社会の動向を理解することは、われわれが視野を広げるといふ点で重要な問題。開業医の中には、よい医療の努力だけではよい

ではないか、という意見もあり、私はそれもひとつの見識と思うが、現実にはわれわれの医療はそれらと深く関わっている、その理解を抜きにしては医療の問題も解決しないという提起がされている。売上税と国民生活、国の歳入状況、自

民党の三〇四議席の問題など。また医療に關わる政治・経済・社会の動向を理解することは、われわれが視野を広げるといふ点で重要な問題。開業医の中には、よい医療の努力だけではよい

歯科 分科会

厳しい歯科医療情勢 対応の方法は？

経営する長野・林先生が口火役となり、治療のレベルアップのための企業努力、医療・保険・税制などの制度改善に対する方向性を持つこと、行政権や大企業の介入に對しての対応などについて説明があった。また、大都市では一日に患者が五、六人という所もあり開業して数年以内という若い人の倒産が増えてきているという話も出た。

以上総合して、日頃の医

院経営に際して、収入・経費・税金の内容や可処分所得を正確に把握すること、住民とのコンタクトを深め地域活動へ積極的に参加していくこと、歯科医療の水

準を高めるためにスタッフの教育をしていくことなどが必要であるという結論に達した。

渡辺先生が総括として、「われわれはこの厳しい歯科医療情勢の中でライフサイクルを考えて医院経営にあたる必要があるであり、協会活動については中心になつてやってくれる人を掘り起して活発に行っていくか

ねばならない」と述べた。秋の新潟でのブロック会議を申し合わせて定刻通り終了した。

最後に、「石川・新潟の部会発足後一年間の歩みと活性化の方策」の議題に対し、石川・大矢先生、新潟・神田先生から両部会の活動報告があった。両部会とも一〇〇名を超える会員が集り、今後とも増加させていくこと、毎月一回の例会を行っていること、活動の充実・強化を図る旨などが主な内容であった。

最後に、「石川・新潟の部会発足後一年間の歩みと活性化の方策」の議題に対し、石川・大矢先生、新潟・神田先生から両部会の活動報告があった。両部会とも一〇〇名を超える会員が集り、今後とも増加させていくこと、毎月一回の例会を行っていること、活動の充実・強化を図る旨などが主な内容であった。

最後に、「石川・新潟の部会発足後一年間の歩みと活性化の方策」の議題に対し、石川・大矢先生、新潟・神田先生から両部会の活動報告があった。両部会とも一〇〇名を超える会員が集り、今後とも増加させていくこと、毎月一回の例会を行っていること、活動の充実・強化を図る旨などが主な内容であった。

特別講演2

中曽根税制改革の問題点

保団連歯科協幹事 渡辺弘明先生

先般、日歯の代議員会が... 渡辺先生、その問題はそれくらいで」と止めに...

国民の現行税制への不満を利用

一方、歯科機材関連業界の会長から「われわれの業...

医科分科会は、二十二名が参加し、富山・田中先生の司会で三つの議題について討論を行った。

視野を広げ、国民の期待に応えよう

の問題ではない。レーガン、という国民の意識、たとえば...



渡辺弘明先生。日歯代議員としても活躍中。

自民党は国民の中に見え隠れする現行税制への不満の感情に踏み込んで、実行しようとしている。

「公平」という名の「不公平」

それに加えて、今日の税

制改革はシャープ以来の税収構造の歪みと不公平を是正し、全ての商品に「公平」に税金をかけるんだという表現で、ものを言われると、

税制改革

本音は

増税

私は、税の公平・公正というのは納税者の負担能力に比べて負担が適正に行われているかどうか、また能力に見合った課税がためさ

大金持ちには5千億円の減税 庶民には2兆円の増税

税のみを提起したために失敗したことから、現在は増減税同額という手法が取られている。しかし短期的にはそうであるかも知れない

内需の

拡大促す

改革が必要

いざれにしてもこの税制改革が、円高、内需拡大、低成長に対し、どういう効力を発揮するのか、中でも消費需要を拡大し、われわれサイドからすれば患者が一人でも多く診療所に来れる状況になりうるのか。

減税の中味に触れると、減税は最高税率の引き下げと累進の緩和であるが、レーガンやサッチャーと違うところは、①課税最低限の引き上げがなく、低所得者に対しての思いやりのない。②配偶者控除などの人的控除がない。また法人の一兆八千億の減税について、回り回って個人に還元される

第2ラウンドへの対応と協会の活性化

富山協会記

医科分科会

案となった売上税は、玉虫色の議長調停により、新たな大型間接税導入の「火種」を残したのと言わざるを得ない。協会としては名称だけ変えて国民の目をごまかす「福祉目的税」を始めとしたいかなる名目の大型間接税にも反対であると発言した。

次に各協会より会員アンケート結果と活動状況が次々と報告され、その中で今後の宣伝にあたっては、会員の素朴な疑問とかみ合った内容の解説が必要であるとされた。

医療福祉をさぐる人々

④

公立石川中央病院栄養部 栄養士のみなさん

松任市西新町232
TEL (0762) 75-2222



左から竹内恵子さん、高田豊子さん、木谷泰子さんの栄養士トリオ。

今月は、栄養士さんにご登場頂きました。取材協力は、公立石川中央病院に勤める栄養士さん三人です。

ソフトを 自主開発

「コンピューター」と聞いただけで拒否反応を示す人は少なくない。(筆者もしかりであるが...)特に中年以降の女性に多いというのは事実のようである。何かしら自分の敵であるかのごとくに感じてしまうらしく、職場にコンピューターが導入されるというだけでノイローゼになったり、会社を辞めてしまうという記事が新聞紙面を賑わせたのはそれほど古い話ではない。

気がついたら 勤続20年

栄養士を志した動機などについて、それぞれお尋ねした。

ここに紹介する三人の柱(?)年女性(平均年齢三十八歳)は、そんなコンピュータを積極的に自分たちの仕事に取り入れ、今では県内でも珍しい栄養管理システムなるものを作り出した恐るべき(ちよっと失礼)栄養士さん達である。

「コンピューターを積極的に自分たちの仕事に取り入れ、今では県内でも珍しい栄養管理システムなるものを作り出した恐るべき(ちよっと失礼)栄養士さん達である。」

上司の理解と 援助に恵まれて

高田豊子さんは、「両親とも医療機関に勤めていた

関係でこの道に入りました。栄養部のチームワークが良く、上司の理解や援助に恵まれて本当に恵まれていると思っています。最近患者さんが、「先生にほめられた」とか、「もうちょっと頑張れといわれた」とか、遂一報告してくださることに、栄養士になって良かったとつくづく感じます」

仕事を盗む」を モットーに

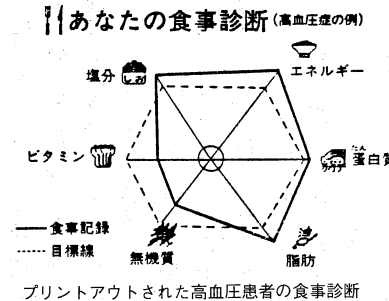
木谷泰子さんは、「短大を卒業してすぐに力だめしのつもりで五年間就職しました。結婚・出産・子育てのため主婦業を少々。でも、栄養士としての仕事に愛着

悪戦苦闘の末 ソフトが完成

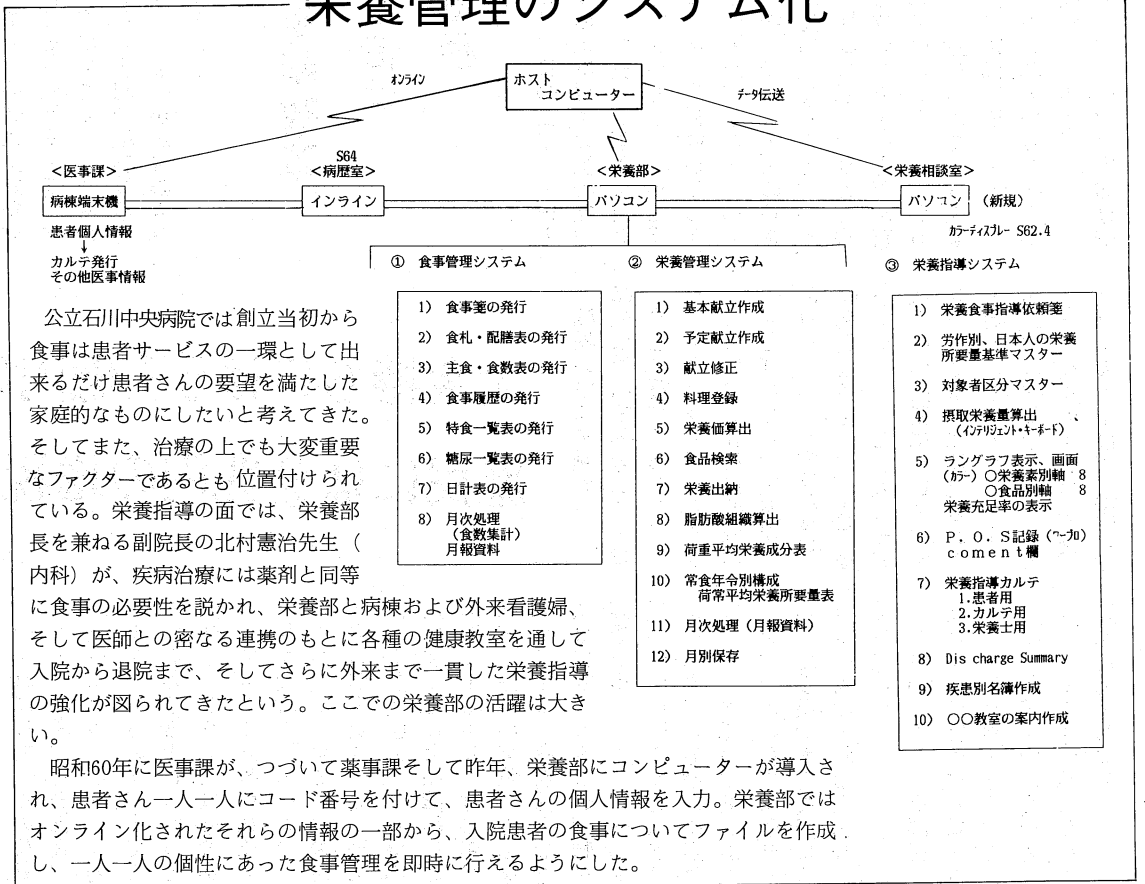
この三人がコンピューターによる栄養指導に携わるまでの経緯について聞いてみた。

「当院が最初にコンピューターを導入したのは医事課で、続いて薬事課が入れたんです。そして私たち三人の栄養士は、いずれ近い将来、私たちの仕事にもコンピューターが必要になるのではと考えて院内で行われるベシック同好会に入っ

たわけです。そこでは、ほんのテレビゲームを操作するくらい知識しかまだ得られない頃、私たち三人がすでにコンピューターを扱えるものと勘違いされたよ



栄養管理のシステム化



苦勞よりも よろこびが大

「私たちが三人の悪戦苦闘がここから始まったわけです。まず入院患者の食数管理から手掛け、現在の栄養指導の管理システムのソフト

そのあたりについて竹内さんはこう語られる。「苦勞といえば、コンピューターを導入したから私

私たちの仕事が楽になるといふことはなく、むしろ仕事量は増えたんです。でも、私たち栄養士の本来の仕事

が、医療とダイレクトに結びついた栄養指導なんです。ですから栄養士として、本来の仕事が出来るというのは最高の喜びです。北村先生を始めとして事務局長の今村さんの理解、そして総務課長の中山さんの親切な

三人の栄養士さんは、それらの準備と日常の仕事に加えて、システムのオンライン化をすすめる一方、さらに有効なソフトの開発に増々の多忙に大張り切りである。(保険医協会取材班)

が、現在の倍近くになること、病棟患者食堂が新設され、白山と日本海を眺めながら雰囲気の良い環境で食事をして頂く構想になっていること、この病院の食事に対する考え方が、さらに具体化する。

公立石川中央病院では創立当初から食事は患者サービスの一環として出来るだけ患者さんの要望を満たした家庭的なものにしたいと考えてきた。そしてまた、治療の上でも大変重要なファクターであるとも位置付けられている。栄養指導の面では、栄養部長を兼ねる副院長の北村憲治先生(内科)が、疾病治療には薬剤と同等に食事の必要性を説かれ、栄養部と病棟および外来看護婦、そして医師との密なる連携のもとに各種の健康教室を通して入院から退院まで、そしてさらに外来まで一貫した栄養指導の強化が図られてきたという。ここでの栄養部の活躍は大きい。

昭和60年に医事課が、つづいて薬事課そして昨年、栄養部にコンピューターが導入され、患者さん一人一人にコード番号を付けて、患者さんの個人情報を入力。栄養部ではオンライン化されたそれらの情報の一部から、入院患者の食事についてファイルを作成し、一人一人の個性にあった食事管理を即時に行えるようにした。



保健衛生課長の水岡久夫さん(左)と保健婦の飛岡 香さん。

「住みよい町」「訪れてみたい町」 富来町を訪ねて

富来町保健衛生課長に
インタビュー

わが町の 医療福祉を語る

第3回

夜もすがら春のしるべの風ふけど

増穂の小貝くだけずにあれ(福永武彦)

この歌仙貝と呼ばれるさくら貝が打ち寄せる増穂ヶ浦に今年三月、世界最長四六〇・九メートルのベンチをつくり、全国的にも注目を浴びている富来町役場を訪れた。応対して頂いたのは保健衛生課長の水岡久夫さんと保健婦の飛岡香さん。

世界最長のベンチなど 増穂ヶ浦の開発に重点

富来町は人口一三、一七人(三月末現在)であり、三方を低い山に囲まれ、美しいカーブを描く富来湾に面しており、主要産業は農業と漁業、林業であり、なかでも漁獲高は県内でもト

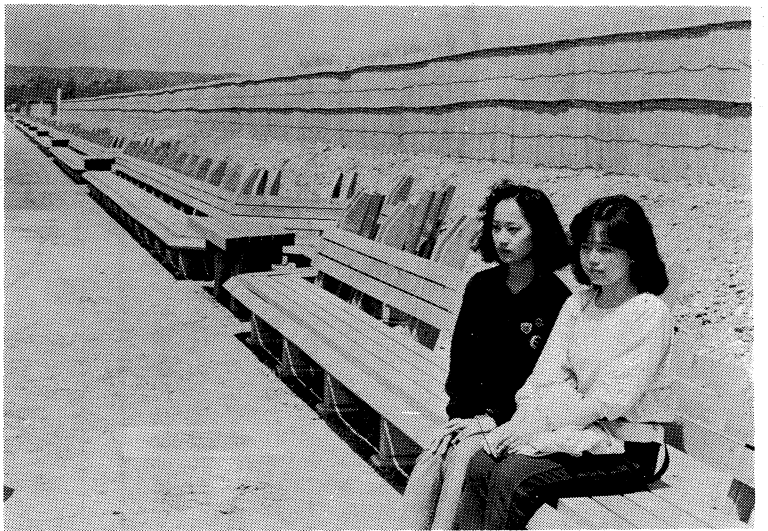
県内で一、二位 一般検診の受診率

保健衛生課は環境衛生、公衆衛生、水道事業を担当しており、公衆衛生の分野では保健事業、国民健康保険、老人医療に取り組んでいる。富来町の一般健康診査の受診率は七五・八〇%で、県内でも一、二位を占めている。これまで地区医師会の協力により地域ごとの健康教室が積極的に開催され、推進員による個人連

絡の徹底の外、国保加入者には全員に問診表を渡し、自覚症状のある人には、コンピュータ診断による人間ドックをすすめている。今後さらに「データバンク」を設けて、より系統的に住民の健康管理をはかっている。町立富来病院はじめ地元医師二人、歯科三人の開業医師の先生方との協力関係もよ

く、この地域の医療施設は充足している。国保加入は約五、〇〇〇人であるが、保険料の収納率は納税組合のルートを利用しており、九八%と高く、長期の滞納者は現在二六世帯となっており。いずれも理由を把握しており、保険証の返納を求めたり、資格証明書を発行した世帯は極く一部である。

厚生省が本年度より保健事業で新五カ年計画の重点項目の一つとして掲げた歯科口腔検診については羽昨保健所が以前から一部の地域で実施しているが、富来町としてもこれから検討していく。ただし、集団検診となるゆえ歯科医師の先生方の診療体制との関係が問題になると思う。健康教育では四〇歳以上の人には歯周病について話をしている。



世界で一番長いベンチ。大阪からの観光客もあり、ギネスブックに挑戦中。

保健婦を増やし 訪問件数を 増やしたい

富来町は周辺の自治体と比べても医療費が高く保健衛生課では今後、医療費抑制が最大の課題であり、そのためには保健事業の充実が不可欠と確信している。保健婦としての悩みは老人保健法施行に伴う事務量の増大であり、そのために訪問時間が足りなく、訪問件数も少なくなっている。人口一三、〇〇〇人に対して現在、保健婦二人(もう一人の小林保健婦は外出中でお会いできなかった)であるが、もう一人必要であると痛切に感じている。これからの抱負は、①健康診査実施後の制度管理に力を入れること、②肺がん・大腸がんの検診にも踏み込んでいくこと、③住民・患者宅への訪問件数を増して、きめ細かな保健活動をすすめていくことである。

協会の行事案内

◎公開講演会

テーマ AIDS
講師 東京都立駒込病院感染症科医長 八 森 啓 先生
とき 六月七日(日)
午前十時から午後〇時半
ところ 石川県教育会館 二階大会議室

◎北信越ブロック
第三回地域医療交流集会
テーマ 病院・診療所の連携と相互の活性化を求めて
とき 六月二十七、二十八日
ところ 福井県・芦原研修会館

◎第五回経営対策講演会
テーマ 有床診療所の将来見通し
講師 経営コンサルタント 阿部雄二氏
とき 七月十日(金)
午後七時
ところ 金沢都ホテル

※すべて協会事務局まで参加申し込みが必要です。 〇七六二二二一五三七三

一九八七年度版

「病院マップ」の改訂すすむ

一九八七年度版の「病院マップ」の製作が開始されました。これは昨年度八月、全国で五番目に当協会が作った初版「病院マップ」の改訂版で、八十六年度版に比べてさらに見やすく使いやすいように全面改訂されるものです。



とりわけ初版が出たときには、新聞やテレビをはじめとして、他方からの反響を呼び、実際にこの「病院マップ」を使われる会員からも、大変使いやすい、来年度版もぜひ作って欲しい、などの

会員の先生に
一冊無料で
お届け致します

また、初版の反響がすごぶる高かったため、保団連地域医療交流会で発

表の場を得、すでにいくつかの保険医協会でも製作が始まっています。

本年度版「病院マップ」の特徴は、外来や検査担当医師名のほかに、患者教育・教室の利用法や開業医が参加可能な院内カンファランスの利用法など、病診連携という点でさらに使いやすく、役立つ内容になっています。現在、各病院にアンケートのお願いをしているところで、七月には会員の先生方に無料でお届けいたします。

(地域医療対策部)

健康のしおり

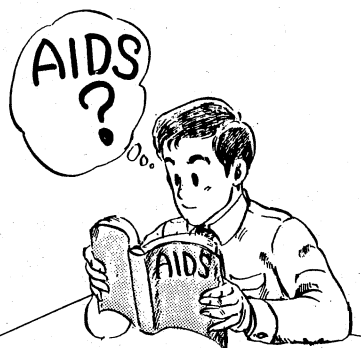
No 28

「エイズ」

発刊のお知らせ

健康のしおり「エイズ」が六月中旬に発刊されます。7月初旬に全会員に30部無料でお送りします。ので窓口にご利用下さい。

エイズ



発行 石川県保険医協会

医学に立脚した再審査請求理由の上手な書き方は、医学判断学が参考になると思われる。

の診断や治療の中からよしあしを考慮して、不確定性のもとで判断して選択を迫られることが多い。近年、医学の急速な進歩によって情報が氾濫し

騰し、医療過誤が増加して、有効な無駄のない医療をもとめる社会の声も無視できないため、新しく米国で発達した医学判断学(Medical Decision Making)が注目をあ

は不確定性があり、治療学が確定していない現状では必要不可欠という解釈はそぐわないと思われる。また保険診療は必要と解釈すべきである。

療養担当規則にいう必要はあくまで必要そのものであり、それが適性・妥当に行われていればよいと解釈すべきである。医療の質の良さは診断や治療を決定する医師の思考過程の質にもかかっていると思われ、それが適性・妥当に行われているかどうか重要であると考える。

再審査請求の書き方

(下)

on Making)が注目をあびつつあるという。

ないし解釈しているものあり、医師として医療に最善をつくすのが、医師の倫理であるため、やはり必要で十分な医療を行うべきである。

©再審査請求用紙をお送りします。追加希望の方はご一報下さい。

決定!

要項決まる

石川県保険医協会

第15回 家族・従業員レクリエーション

1泊2日

エキスポランドと

たっぴい笑おう

たっぴい遊んで

梅田花月の観劇

- とき 10月10日(土・祝)～11日(日)
- 集合 金沢駅浅電前 午前7時半
- 募集 40名様 (定員になり次第〆切)
- 参加費 おとな 34,000円 こども 21,000円

お申し込み・お問合せは

協会事務局へ
(0762) 22-5373